

平成 15 年度事業報告・収支計算書

1. 海外事業

本年度の海外事業は昨年度に引き続き、フィリピン共和国サンバレス州を中心として実施することを計画しています。

発展途上国における児童関連施設改善事業

ニョスバグアサセンター改修事業

(サンバレス州オロンガボ市オールドカバラン町ニョスバグアサセンター)

昨年度までも改修作業を実施してきた聾啞者施設ニョスバグアサセンターでのプロジェクトですが、本年度も老朽化した施設の改修を行うことを計画しています。現在の予定では具体的に、新たに施設に2階部分を設置する作業を行う計画です。

発展途上国における貧困地域の保健衛生環境改善事業

薬草によるアエタ族の初期治療手段確立プロジェクト

(サンバレス州サンマルセリーノ行政区サンタフェ町バリウエット集落)

アエタ族が元来利用してきた薬草を主な手段として、バリウエット集落での初期治療手段を確立することを目的とした本プロジェクトは本年で5年計画の最後の年となります。昨年度と同様に、集落の女性組織 SAKAKA(Samahang Katutubo parasa Kalusugan=先住民族健康組合)が今後も初期治療を実施していくことを可能とするための持続性の確保を重点とし、主に下記の3つの活動を実施します。

1. 自己資金確保の取り組み…SAKAKA 引継ぎ後に活動を継続していく運営資金の確保を目的として薬草を原料とする石鹸作成とバナナの販売を実施。フィリピンの政府機関である貿易産業省や科学技術省と協力し、ハーブ石鹸の販路拡大に必要な BFAD 認証を取得する。その後、マニラや近隣の店舗と提携して定期的な販売を開始することを計画。また、SAKAKA の作業センターとなる建物をバリウエット集落に建設する。
2. 組織の意思決定のための取り組み…SAKAKA が今後初期治療実践の主体者となるためのリーダーシップや組織運営についてのトレーニングを実施。外部ファシリテーターに委託して3月まで毎月実施。
3. SAKAKA をモデルとする他集落での初期治療普及…平成14年度小薬草園を設置した内の6集落で SAKAKA をモデルとした組織作りと石鹸作成指導を実施。

SAKAKA に関しては BFAD 認証取得と販路の確保まで当会で協力し、この手続き終了後に本プロジェクトを完全に引き継ぐ計画です。具体的に5月前後に完全な引継ぎを行うことを計画しています。また、3の他集落での取り組みでは、SAKAKA の認証取得後に、各集落もこの SAKAKA の一部としてハーブ石鹸の作成と販売を行うことを計画しています。

引継ぎ終了後も当会スタッフが定期的にバリウエット集落で状況の確認を実施、他集落に関しては毎月一回のヘルスワーカーミーティングを通年で実施することでフォローアップを行っていきます。

本プロジェクトは3月まで国際開発救援財団の平成15年度民間海外活動に対する助成金を頂いて実施します。

先住民族のための果樹植林技術指導(21世紀の森プロジェクト)

(サンパレス州サンマルセリーノ行政区サンタフェ町バリウェット集落)

緑化による所得向上を目的として、アエタ族の青少年組織 KAB(Kabataan Action ng Baliwet=バリウェット青年の行動)への技術指導を実施し、3.5ヘクタールの果樹園の管理を行う本プロジェクトは平成11年からの継続事業で、本年度で5年目を迎えます。昨年度までの計画では本年度中にKABへの引継ぎを行う予定でしたが、収穫に課題が見られることから、1年間延長して指導を継続します。今後のKABの自立を踏まえ、KABが独自で自己資金を確保できるための収益の増加を重点として、本年度は下記の3つの活動を実施します。

1. 果樹園管理と技術指導…これまでに設置した3.5ヘクタールの果樹園(バナナ・マンゴー・カシューナッツ・ココナッツ・野菜)の管理と技術指導を実施。水牛による耕作や堆肥の作成・混入の指導を実施し、収穫の増加を図る。
2. リーダーシップ・組織運営・会計トレーニング…今後KABが自立して運営を行っていくためのトレーニング。外部ファシリテーターに委託して実施し、KABメンバーが組織に必要な基礎的な知識を取得していくことを目的。
3. 山羊飼育…本年度からの新たな取り組みで山羊の飼育指導をKABメンバーに実施。果樹園管理資金や今後のKAB独自の活動の資金を捻出することを目的。

昨年度までの取り組みで、KABの中心となる青年メンバーの意識化に成果が見られ、彼らが自分達のプロジェクトとして本プロジェクトを捉え、自主的にミーティングを実施したり、管理活動を各自で分担して行うようになった等の成果も見られています。しかし、今後の引継ぎを踏まえた場合、活動の中心となる果樹園の収穫を中心としてKABの自己資金を増加させることはKABの持続性の強化に不可欠な課題となります。そこで、上記の3つの活動を中心として、この課題の改善に取り組む計画です。

本プロジェクトは6月まで郵政公社の平成15年度国際ボランティア貯金配分金を頂いて実施します。

水道設置プロジェクト

(サンパレス州サンマルセリーノ行政区サンタフェ町バリウェット集落)

現在のバリウェット集落には水道ポンプが1つしか無いため、集落の住民はこのポンプのある教会付近や川まで傾斜のある土地を1日に何度も往復している状況です。そこで、集落中心部に数個の水道を設置するのが本プロジェクトです。

集落住民と当会のワークキャンプ参加者による作業を計画しています。

アエタ族の薬樹栽培技術取得のためのモデルファーム設置プロジェクト

(サンバレス州サンマルセリーノ行政区サンタフェ町バリウエット集落)

昨年度 10 月から開始した本プロジェクトは、火山灰でも育ち、販路が確保しやすいサンボン・ラグンディ等の薬樹栽培をアエタ族の新たな生業として普及し、持続的な生業の確保とそれに伴う所得の向上を目的とするものです。本年度は主に下記の 3 つの活動を実施します。

1. モデルファームの設置…住民への栽培指導と苗木供給の場となるモデルファームの設置。水道タンク・スプリンクラー・苗床・堆肥小屋・フェンス・スタッフハウス・乾燥施設を設置し、2ヘクタールのエリアにサンボン・ラグンディ・チャングバットを植えつけて管理を行う。この収穫は次年度以降のファームの管理費となる他、各集落への堆肥小屋の設置等住民への栽培普及への資金となる。
2. 住民への栽培技術指導と栽培普及…バリウエット・プアグ・バナバ集落住民希望者を対象に薬樹栽培のトレーニングを実施。これを経て住民間での栽培も開始し、当会スタッフが定期的にモニタリングと技術指導を実施する。
3. 販路の確保…提携団体の FOCUS と共同で薬樹を扱う企業と交渉し、モデルファームの収穫及び住民栽培の収穫の定期的な販路を確保する。

多くのアエタ族集落で見られる課題が、火山灰に覆われた土壌で十分な作物が育たない、たとえ育つものでも平地に比べると競争力を持たず、十分な収益が得られないというものです。これに対し、薬樹栽培は火山灰でも生育が可能であり販路が安定しているという利点があり、またこれを引き取る企業側も広大でかつ環境汚染が無いエリアを必要としているというように、両者のニーズが合致しているものです。このプロジェクトにより、アエタ族の新たな生業として薬樹栽培が普及し、各住民の持続的な生業の確保と所得の向上や、これを他集落でも薬樹栽培を普及するためのモデルとなる等が期待されています。

本プロジェクトは 10 月まで外務省の平成 15 年度日本 NGO 支援無償資金協力を頂いて実施します。

ニニョスパグアサセンター医療サービス支援プロジェクト

(サンバレス州オロンガボ市オールドカバラン町ニニョスパグアサセンター)

本プロジェクトは聾啞者施設のニニョスパグアサセンターが実施している医療サービスへの支援を行うものです。これは具体的に、口蓋裂や水頭症の手術費用の支援を行うもので、2 月と 4 月に手術を予定している約 100 名の患者を対象としています。

本プロジェクトは、西日本新聞旅行社と共同で実施したスタディツアー参加者の松元様を中心とした協力者の方々から昨年度頂いた 48 万円を基にして実施します。

発展途上国における貧困地域の教育環境改善事業

幼稚園建設プロジェクト

(サンバレス州カスティリヤホス行政区マグサイサイ町ジャイラホーム)

昨年度から継続の本プロジェクトは、ジャイラホーム及び近隣のこどもたちへの教育の普及を目的として幼稚園の建物を設置するものです。本年度は内装作業が主な内容となり、本年度中の完成を予定しています。幼稚園の完成後は、ジャイラホームによる園の運営が開始される計画です。

コミュニティホール建設プロジェクト

(サンバレス州イバ市アムンガン町)

平成 14 年度からの継続事業である本プロジェクトでは、本年度も引き続き地域の住民の職業訓練や学習の場として利用されることを目的とするコミュニティホールの建設を実施します。昨年度までと同様に、3月と9月にホームステイワークキャンプを実施して、ワークキャンプ参加者と現地の住民が作業を実施します。具体的に、2階部分の建設と敷地の整備を行っていくことが予定されています。また、6月の新学期を目処として、デイケアセンターを開設するための1階部分の整備を行うことも計画しています。本プロジェクトは次年度春の完成を予定しています。

バランガイラーニングセンター支援プロジェクト

(サンバレス州サンアントニオ行政区イーストディリタ町)

昨年度に教材を提供したイーストディリタ町で、本年度はデイケアセンターと青少年会議場兼ラーニングセンターとなっている建物 2 軒の改修作業を実施します。作業は 3 月からの実施を予定しており、また本プロジェクトにあわせて、3 月のジャイラホームワークキャンプ参加者は同町にてホームステイを実施して作業に参加することも計画しています。

事業費は、デイケアセンターが床の修理費用として 37,000 ペソ、ラーニングセンターが床の修理費用と天井の取替え費用として 63,000 ペソを予定しています。

国際ボランティア体験事業

本年度も昨年度までと同様に、ジャイラホーム・バリウエット集落・イバにおいて計 8 回のワークキャンプを実施する計画です。各キャンプの参加者はそれぞれのプロジェクト地で実施中の作業に参加する他、ホームステイや交流会等のイベントも実施していく予定です。

実施は 2～3 月と 8～9 月を予定しています。

2 . 国内事業

*** 内容分からないのでそちらをお願いします。***